

令和元年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

平成31年4月に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査の目的は、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、今後の教育活動に役立てていくことです。村教育委員会では、調査結果から、飯館の子ども達によさや課題を把握し、子ども達の確かな学力を育むことを目指します。

教科に関する調査の結果から

教科	よくできている所	課題となっている所
小6国語	話し手の意図を捉えながら聞く。自分の理解を確認するために質問をする。	図表・グラフの読み取り方や目的に応じた効果的な使い方。
小6算数	図形の性質を理解して他の図形を構成する。	減法、除法の意味を理解し、その性質を活用する。
教科	よくできている所	課題となっている所
中3国語	封筒の書き方。論の展開にふさわしい語句や文の使い方。	相手に分かりやすく伝えるための表現の工夫。
中3数学	図形領域。平行移動の意味の理解。確率の求め方。	関数領域。問題解決の方法を数学的（論理的）に説明する。
中3英語	日常的な話題についてそのあらすじと内容を理解する。	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を整理する。

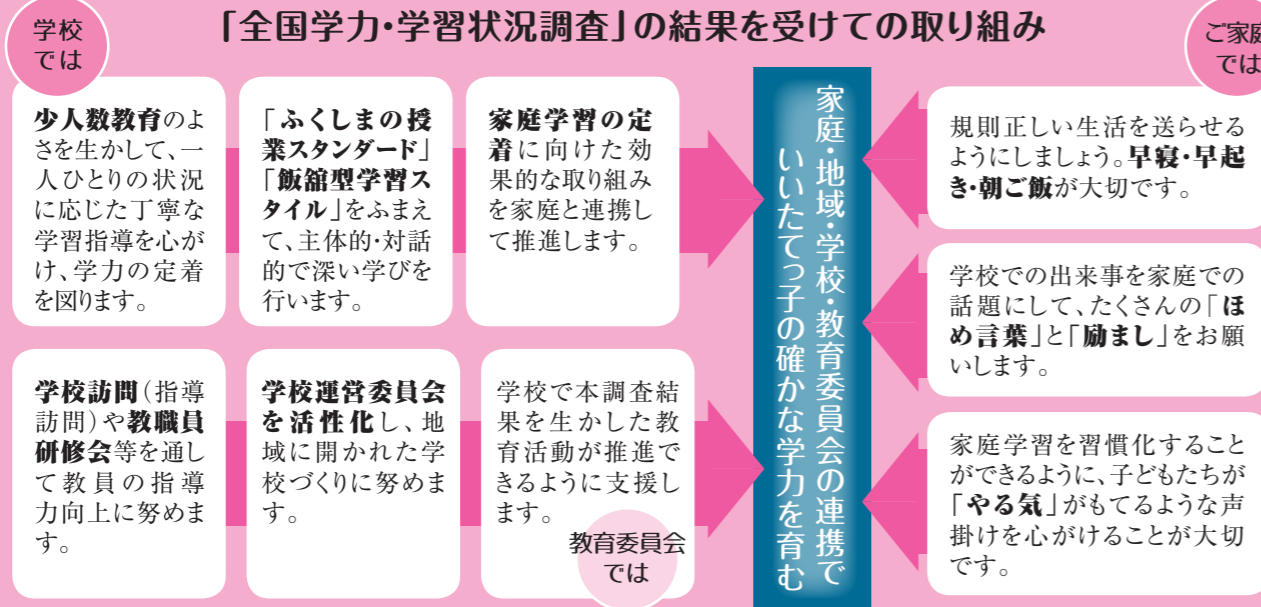
質問紙調査に関する調査の結果から

関連項目	よくできている所	課題となっている所
学校生活 関連	各教科に対する関心 話し合い活動への積極的な参加 授業で学んだことを他の学習に生かすこと	読書時間 地域行事への参加
家庭生活 関連	自分で計画を立てて学習すること 朝食摂取率	家庭学習時間の個人差

「児童・生徒質問用紙」と「教科に関する調査結果」とのクロス集計から(小6・中3)

関連項目	クロス集計で見られるよい傾向の一例
学習習慣	家で自分で計画を立てて勉強している子どもは正答率が高い傾向が見られる。
生活習慣	朝食を毎日食べている子は正答率が高い傾向にある。
家庭や地域との関わり	地域や社会で起こっているできごとに関心がある子は、正答率が高い傾向にある。 家庭で学校の話題を多くする子は、正答率が高い傾向にある。

「全国学力・学習状況調査」の結果を受けての取り組み



開校への動きと 全国学力調査の 結果を報告します



「いいたて希望の里学園」正式決定

義務教育学校の来年4月の開校と校名を定める条例が、9月議会定例会で議決され、校名「いいたて希望の里学園」が正式に決定しました。

新しい学校の校章と校歌の制作も進められており、準備委員会で決定次第、紙面でお知らせいたします。

新しい校歌が誕生します ●子ども達との意見交換会●

「いいたて希望の里学園」の校歌(作詞)をお願いしている俳人の黛まどかさんが来校し、子ども達と校歌制作について、意見を交わしました。



新しい学校の校歌の作詞は、俳人の黛まどかさんに依頼しました。黛さんは、村の魅力を広く伝える「まてい大使」の一人。小中学生の想いを直接聞こうと、9月7日来校しました。

中学生は、豊かな村の自然、村民の優しさ、伝統芸能などについて語り、「未来」や「希望」が感じられる言葉を取り入れてほしいと話しました。

小学生は、村の自然や伝統について学んだことや、村民との交流について発表。また、夜空の美しさ、冬の遊びの楽しさなどを村の魅力として挙げ、「村民が助け合って暮らしていることも歌詞にこめたい」と伝えました。

子ども達と対話した黛さんは、「避難を経て出発する新しい学校の校歌。限られた言葉にはなるけれど、子ども達の想いを込めていきたい。将来村を離れても、辛い時には背中を押してくれる、勇気づけてくれるような校歌にしたい」と思いを強くしていました。